

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 相生市社会福祉事業団

目 次

ページ

I	総括的事項	1
II	法人・本部事務局の取組み	1
III	各施設の取組み	7
	【養護老人ホーム愛老園】	7
	【特別養護老人ホーム椿の園】	1 1
	【保育所】(相生・平芝・矢野川)	1 4
	【障害者支援施設野の草園】	1 8

I 総括的事項

近年、福祉を取り巻く環境も大きく変化し、利用者のニーズが多様化する中、社会福祉法人制度改革により求められている経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みについて着実に遂行し、自主的・自立的な経営を目指し、効率的・効果的な経営を推進してきた。

こうした中、当事業団では、相生市から養護老人ホーム愛老園、特別養護老人ホーム椿の園及び障害者支援施設野の草園については平成26年度から5年間、相生保育所、平芝保育所及び矢野川保育所については平成29年度から5年間の指定管理を受け、市所管課と連絡調整を図りながら適切な管理運営に努めるとともに、養護老人ホーム愛老園、特別養護老人ホーム椿の園及び障害者支援施設野の草園については平成31（2019）年度から新たに5年間の指定管理を受けることとなった。

矢野川保育所においては、定員に満たない状況が続き、400万円の積立金の取り崩しを行っても約300万円の赤字を計上せざるを得ない状況となつたが、今後なお一層魅力的な園づくりに努め、園児の確保、効率的な人員配置等により収支の改善に努めたい。

II 法人・本部事務局の取組み

今後の事業団を担う職員育成のため、実践型職員継続研修を計画し、作成より10年が経過している『理念・方針・スローガン』の再確認や見直し等を行いながら、コーチングスキルを活用したリーダーシップの育成研修を実施した。

また、労働環境を改善するため政府が提唱している「働き方改革」に基づき、年5日の年次有給休暇の確実な取得ができるよう職員の就業規則の整備を行つた。

福祉施設においては、人材確保難が続いており、ハローワーク、求人誌、求人サイト、人材紹介会社などあらゆる手段を活用して募集を行つてはいるが芳しくない状況であるなか、平成31年4月1日採用の正規採用試験を実施し、介護員5名を採用して人材確保を図つた。

1. 役 員

(1) 理 事

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	職 名 等
理 事 長	丸 山 英 男	
副 理 事 長	西 崎 健 一	相生市健康福祉部長兼福祉事務所所長
業務執行理事	竹 内 繁 礼	相生市社会福祉事業団事務局長
理 事	瀬 川 英 臣	社会福祉法人相生市社会福祉協議会会长
	魚 橋 哲 夫	医療法人社団魚橋会魚橋病院院長
	賀 川 篤 代	相生市立平芝保育所代表所長

(2) 監 事

監 事	花 田 齊	相生市民生児童委員協議会会长
	山 本 道 雄	元相生市立養護老人ホーム愛老園園長

2. 評議員

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

氏 名	職 名 等
渡 邊 慎 治	社会福祉法人後楽園認定こども園どんぐりの家園長
大 前 正 博	相生市矢野町連合自治会会长
山 本 和 則	元相生市若狭野町連合自治会会长
開 道 眞利子	相生市立障害者支援施設野の草園保護者
岸 本 益 美	相生市民生児童委員
内 海 民 子	相生市民生児童委員
三 浦 貴 史	相生市健康福祉部長寿福祉室室長

3. 会議等

(1) 理事会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
平成 30 年 第 2 回	平成 30 年 5 月 29 日 出席 7 名 欠席 1 名	議案 第 12 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 29 年度事業報告及び決算について	可決
		議案 第 13 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年第 1 回評議員会の招集について	可決
		報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	了承
		議案 第 14 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員選任候補者の推薦について	可決
第 3 回	平成 30 年 11 月 14 日 出席 6 名 欠席 1 名	議案 第 15 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度社会福祉事業資金収支補正予算（第 1 号）について	可決
		報告 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	了承
		議案 第 16 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事選任候補者の推薦について	可決
		議案 第 17 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年第 2 回評議員会の招集について	可決
平成 31 (2019)年 第 1 回	平成 31 年 3 月 26 日 出席 8 名 欠席 0 名	議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度社会福祉事業資金収支補正予算（第 2 号）について	可決
		議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員就業規則の一部を改正する規則の制定について	可決
		議案 第 3 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団パートタイム職員就業規則の一部を改正する規則の制定について	可決

議案 第4号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員給与規則の一部を改正する 規則の制定について	可決
議案 第5号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員退職手当規則の一部を改正 する規則の制定について	可決
議案 第6号	前期末支払資金残高の本部運営經 費への使用について	可決
議案 第7号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成31(2019)年度事業計画につ いて	可決
議案 第8号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成31(2019)年度社会福祉事業 資金収支予算について	可決
議案 第9号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長の選定について	選定
議案 第10号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団業務執行理事の選定について	選定
議案 第11号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員の選任及び解任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(2) 評議員会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
平成30年 第1回	平成30年6月19日 出席 9名 欠席 0名	報告 第1号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成29年度事業報告について	了承
		議案 第1号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成29年度決算(計算書類及び 財産目録)について	可決
平成30年 第2回 (決議の省略)	平成30年11月19日 出席 7名 欠席 0名	議案 第2号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(3) 評議員選任・解任委員会

開催回数	開催期日・出欠人員	番号	付議事項	結果
平成 30 年 第 1 回	平成 30 年 6 月 8 日 出席 3 名 欠席 0 名	議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員の選任について	可決
		議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員の選任について	可決

(4) 監事の監査

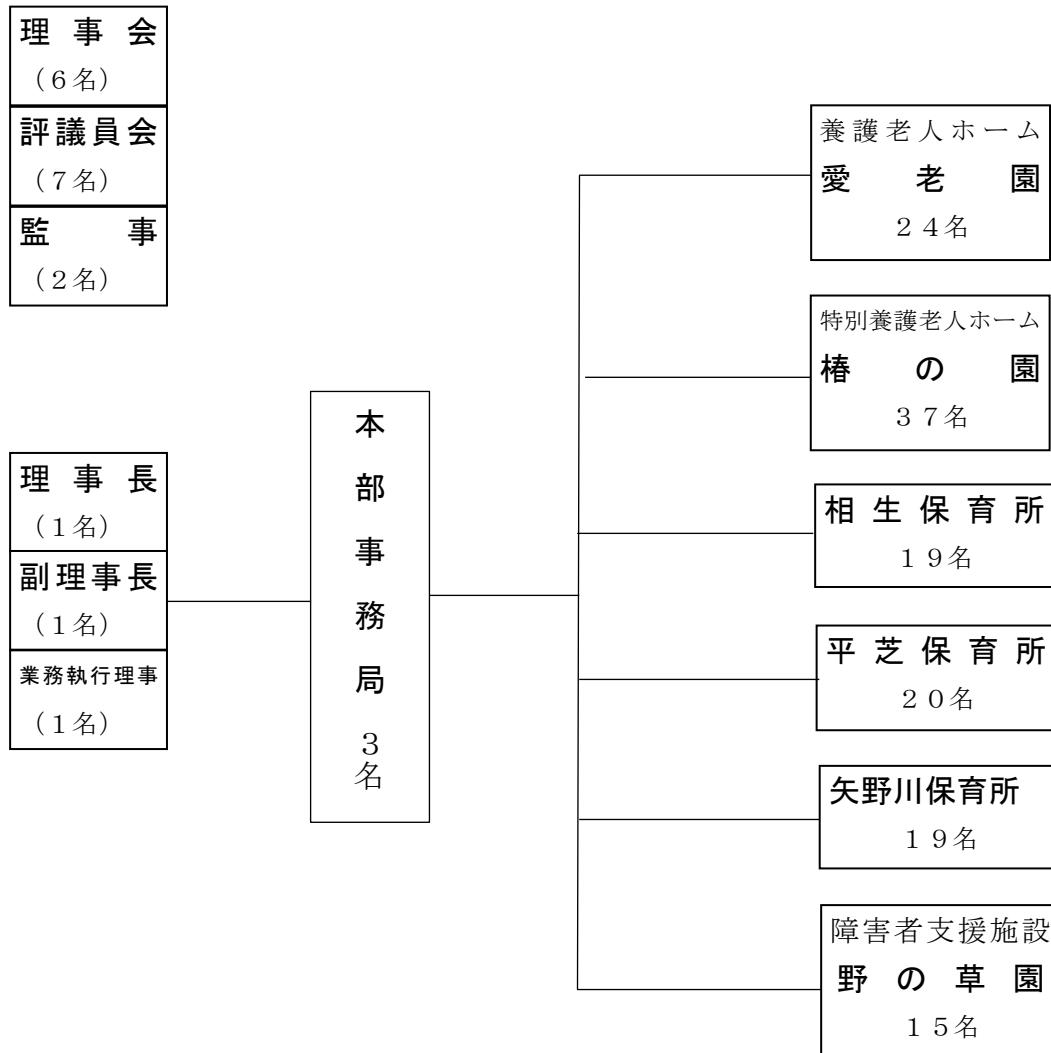
監査区分	実施年月日	監査内容
事業決算監査	平成 30 年 5 月 22 日	平成 29 年度の業務執行状況及び収支決算状況
中間監査	平成 30 年 11 月 6 日	平成 30 年度上半期の業務及び予算執行状況

4. 施設事業等の名称及び所在地

施設事業等	施設事業所名	所在地及び電話番号
主たる事務所	本部事務局	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1208
養護老人ホーム	養護老人ホーム 愛老園	相生市矢野町真広 409 番地 電話 0791-29-0290
在宅老人短期入所事業		
特定施設入居者生活介護事業		
指定介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1005
指定短期入所生活介護事業	椿の園	
保育所	相生保育所	相生市相生三丁目 11 番 5 号 電話 0791-22-7135
	平芝保育所	相生市那波野一丁目 6 番 13 号 電話 0791-22-7137
	矢野川保育所	相生市矢野町下田 508 番地 1 電話 0791-29-0833
生活介護事業	障害者支援施設 野の草園	相生市那波野一丁目 6 番 15 号 電話 0791-23-6450
就労継続支援 B 型事業		

社会福祉法人相生市社会福祉事業団組織図

平成 31 年 3 月 31 日現在



(職員数) 正規職員 35名
嘱託職員 54名
パート職員 48名
合計 137名

III 各施設の取組み

【養護老人ホーム愛老園】

位 置 相生市矢野町真広 409番地

事業の種別 第一種社会福祉事業 養護老人ホームの経営
第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
第二種社会福祉事業 老人居宅介護等事業の経営

事業報告

『養護老人ホーム（措置入所）・・・定員50人』

1. 概要

施設の運営は、老人福祉法の基本的理念に基づき、清流矢野川沿いの閑静な農村部の良好な環境のもとで、入所者の個別性や自主性を尊重し、入所者個々のニーズを的確に把握し、その人らしい生活が送れるよう社会復帰及び自立促進のための必要な指導・訓練並びにベッドの導入を図るなどその他の援助を行った。また、介護保険法に基づき、要支援及び要介護者には的確な介護サービスの提供による支援・介護に努めた。

設備面については、入所者の安全な日常生活のため、防犯カメラとナースコール設備を更新し、1階の居室2部屋をバリアフリーのフローリングに改修した。

入所者の看護と食生活については、日常生活における健康管理・健康保持に留意するとともに、週1回の嘱託医の回診と年2回の定期健康診断による疾病の早期発見、早期治療及び感染予防、機能回復訓練による機能低下の防止と現存機能の維持・回復に努めた。一方、食生活については、入所者の食習慣や嗜好が食事に反映されるよう個別メニューと季節感が味わえる工夫と家庭的な食事の提供に努めた。併せて、毎月「園内喫茶」を実施し、午後の団欒のひとときを過ごしていただいた。

行事やレクリエーションについては、ボランティアの受け入れと入所者中心の行事を開催し、地域、家族及び職員が、共感できるひとときを過ごし交流を深め、一方、クラブ活動として、レクリエーション活動や文化的活動を実施し、また、日帰り旅行や毎月のショッピング外出、月1回の映画上映会の実施など生活意欲増進に努めた。

職員の資質向上については、必要な知識や技術の習得のため各種研究・講習会への積極的参加を促すとともに、職場内研修等資質向上に努めた。

防災対策については、火災を想定した、避難誘導、通報、消火訓練のほか、新たに、土砂災害を想定した避難誘導訓練を実施し、入所者の安全確保に努めた。

また、防犯対策として、不審者の侵入に対応する防犯訓練を実施した。

2. 入所状況（定員 50人）

延入所者数 17, 440人（平成29年度 17, 377人）

1日平均 47.8人（平成29年度 47.6人）

(1) 入退所・入院の状況（平成30年4月～平成31年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	措置替			
4	47	2	1	1				48	1,430	103
5	48		1	1				47	1,469	98
6	47							47	1,410	30
7	47	3	1	1				49	1,460	53
8	49	1	2	1			1	48	1,491	44
9	48	1						49	1,458	119
10	49	1	3	3				47	1,486	97
11	47	3						50	1,419	63
12	50		1				1	49	1,532	141
1	49		1				1	48	1,498	98
2	48	1	2	2				47	1,330	142
3	47							47	1,457	217
計		12	12	9			3		17,440	1,205

※1日付入所者は初日在籍数に含む。

(2) 措置機関別の状況（年度末現在）

措置機関別 入所者数	相生市	たつの市	赤穂市
平成 30 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	40 人	3 人	1 人
平成 31 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	43 人	2 人	1 人

佐用町	神戸市 中央区	岡山市	計
1 人	1 人	1 人	47 人
0 人	1 人	0 人	47 人

(3) 入所者の年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 入所者数	60 歳～	70 歳～	80 歳～	90 歳～	100 歳～	計	最高	最低
平成 30 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	5 人	17 人	15 人	9 人	1 人	47 人	105 歳	64 歳
平成 31 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	4 人	24 人	15 人	4 人	0 人	47 人	93 歳	68 歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

認定入所者数 29 人（平成 29 年度 27 人）

介護度 年度別	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	小計	自立	総計
平成 30 年 3 月 31 日現在 人数・構成比率	3 人	11 人	6 人	2 人	3 人	2 人	27 人	20 人	47 人
	11.1%	40.8%	22.2%	7.4%	11.1%	7.4%	100%		
平成 31 年 3 月 31 日現在 人数・構成比率	4 人	13 人	3 人	3 人	5 人	1 人	29 人	18 人	47 人
	13.8%	44.8%	10.4%	10.4%	17.2%	3.4%	100%		

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・空床利用』

1. 概 要

65歳以上で介護する家族等が病気等の理由により、自宅で介護を受けることが一時的に困難な方を短期間養護し、生活習慣等の指導を行うと共に体調の調整を図ることを目的として支援を行った。

2. 利用状況

月 年度	延利用者数 29人 (平成29年度) 7人)											
	1日平均 0.08人 (平成29年度) 0.02人)											
月別利用者延人数 (単位：人)												
29年度	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
30年度	0	2	6	0	0	21	0	0	0	0	0	29

『特定施設入居者生活介護事業』

1. 概 要

入所者で身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、入浴、排せつ、食事等の介護、洗濯、掃除等の個別のニーズに基づいた介護サービスを提供した。

2. 利用状況

月 年度	月別利用者延人数 (単位：人)												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29年度	27	24	27	28	26	27	27	27	27	29	28	26	323
30年度	27	27	27	30	29	29	27	31	29	27	27	24	334

【特別養護老人ホーム椿の園】

位 置 相生市矢野町真広397番地1

事業の種別	第一種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営
	第二種社会福祉事業	老人短期入所事業の経営

事業報告

『特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員50人』

1. 概要

当施設では、老人福祉法及び介護保険法の理念に基づき、利用者が尊厳を持ち、いきいきと、その人らしい生活が送れるよう利用者個々のニーズを取り入れたサービス計画に沿い、介護・看護・栄養調理の各部門が協働して質の高いサービスの提供と自立支援に努めた。

利用者の高齢化・重度化が進む中、日々きめ細かな体調管理を行い、医療との密接な連携、定期的な健康診断や嘱託医による回診などにより利用者の健康管理に努めた。また、感染症予防対策を確実に行い、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症防止に努めるとともに、機能回復訓練を定期的に実施し、有存機能の維持・向上を図った。

食事・栄養面では、栄養ケア計画に基づき個々の利用者的心身の状況に合った食事環境を整え、嗜好や季節感を取り入れた安全でおいしい食事の提供に努めた。

また、行事・レクリエーションについては、家族・ボランティア・地域の人々と積極的に交流を図り、ふれあいを通して楽しめる機会を提供し、利用者の意向に応じてクラブ活動や外出の支援を行い余暇の充実を図った。また、園内喫茶とおやつは利用者のくつろぎのひとときとなっている。

職員の資質向上については、計画的な職場内研修の実施、職場外研修への積極的な参加及び年間実行計画に基づいた自主的な委員会活動を通してサービスの質を高め、専門性の向上に努めるとともに、ビジョンの唱和により目標の共有と意識化に努めた。

安全管理対策については、防災計画や災害対策マニュアル・土砂災害避難確保計画の周知を図るとともに、火災及び地震を想定した防災訓練や、愛老園と合同での土砂災害を想定した避難訓練、不審者侵入に備えた防犯訓練、さらに利用者の急変時に備えAEDを使用した救命救急講習を行い、防災や安全確保への意識向上に努めた。

また、広報誌の発行・配布などにより施設と地域が共存し、理解と協力を深められるよう努めた。

2. 利用状況（定員 50人）

延利用者数 17,870人（平成29年度 17,898人）

1日平均 49.0人（平成29年度 49.0人）

(1) 入退所・入院の状況（平成30年4月～平成31年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	施設替			
4	50		1		1			49	1,489	153
5	49	2	2	2				49	1,512	79
6	49	1						50	1,482	45
7	50		1	1				49	1,546	185
8	49	2	1	1				50	1,512	153
9	50	3	4	3			1	49	1,431	181
10	49	1	1	1				49	1,512	126
11	49	1	1	1				49	1,468	129
12	49	1	2	2				48	1,509	97
1	48	3	1	1				50	1,492	134
2	50	2	2	2				50	1,367	81
3	50							50	1,550	76
計		16	16	14	1		1		17,870	1,439

※末日付退所者は末日在籍数に含む。

(2) 地域別利用状況（年度末現在）

地域 利用者数	相生市	赤穂市	たつの市	上郡町	岡山市	計
平成30年3月31日現在 利 用 者 数	36人	2人	2人	10人	0人	50人
平成31年3月31日現在 利 用 者 数	34人	2人	4人	9人	1人	50人

(3) 利用者年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 利用者数	65歳～	80歳～	90歳～	100歳～	計	最高	最低
平成30年3月31日現在 利 用 者 数	8人	19人	21人	2人	50人	103歳	67歳
平成31年3月31日現在 利 用 者 数	6人	24人	19人	1人	50人	100歳	68歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

年度別 介護度	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計	平均 介護度
平成 30 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	1 人	2 人	1 4 人	2 0 人	1 3 人	5 0 人	3.84
	2.0%	4.0%	28.0%	40.0%	26.0%	100.0%	
平成 31 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	1 人	1 人	1 5 人	1 6 人	1 7 人	5 0 人	3.94
	2.0%	2.0%	30.0%	32.0%	34.0%	100.0%	

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・定員 8 人』

1. 概 要

寝たきりや認知症など、介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的に家庭での介護が困難な場合に、短期入所サービスを利用されるもので日常生活上の援助などを個別のニーズに基づいた介護サービス計画により提供した。

2. 利用状況

延利用者数 2,007 人(平成 29 年度 2,070 人)

1 日平均 5.5 人(平成 29 年度 5.7 人)

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年 度 /	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29 年度	216	180	168	212	163	137	162	172	170	170	137	183	2,070
30 年度	183	167	173	200	197	158	150	139	122	153	157	208	2,007

【保育所】

位 置	相生市立相生保育所 相生市立平芝保育所 相生市立矢野川保育所	相生市相生三丁目 11番 5号 相生市那波野一丁目 6番 13号 相生市矢野町下田 508番地 1
-----	--------------------------------------	---

事業の種別 第二種社会福祉事業 保育所の経営

事業報告

1. 概要

(1) 相生保育所

一人ひとりを大切にする保育を目指し、家庭や地域の関係機関の協力を得て、地域の自然や施設等の資源を積極的に活用し、豊かな生活体験をはじめ、保育内容の充実を図った。

防災対策としては、平成26年度より相生保育所が南海トラフ地震の浸水想定区域に指定されたことから、毎月の避難訓練に加え南海トラフによる津波を想定した訓練を年1回取り入れた。平成30年度は3, 4, 5歳児を対象に、兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練を、相生小学校・相生幼稚園・相生保育所合同で行った。相生小学校の運動場まで行き、高い位置にある幼稚園まで小学校の児童に手をつないでもらい一緒に避難した。今後も災害に備え避難の仕方を考え、自助、共助の思いを育てられるよう努めたい。

(2) 平芝保育所

子どもたちのより良い未来のために、保育所が安心できる場所となるよう、保護者から信頼され地域の人々から愛される保育所を目指すという理念のもと、職員一人ひとりの仕事に対する意識の向上と、職員間の連携を図り、安定した保育の継続と質の向上に努めた。

乳幼児期は「生きていくための力」の基礎を作る大切な時期であり、年齢に合った発達が心も体も順調に促進される保育を心がけ、「やってみる」という気持ちを持てる子、「楽しかった」と思える活動、そして、「またやりたい」と思える気持ちを育むことを目標にした。

平成30年度は、楽しく食べる子どもに成長していく具体的な育ちの姿として「5つの子ども像」の内『1、お腹がすくりズムのもてる子ども』『2、食べたいもの、好きなものが増える子ども』『4、食事づくり、準備にかかわる子ども』に重点を置き取り組んだ。「食を営む力」の育成に向け、日々の生活と遊び方を通じて、各年齢の子どもたちが意欲的に「食」に関わる体験を積み重ねることで、食事を楽しむことができる保育を目指した。

また、大阪府北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け、ブロック塀の点検を行い、通用門前のゴミ置き場と正門横のプロパンガス置き場を撤去し、ゴミ置き場の新設、ガスタンクの設置を行った。

(3) 矢野川保育所

保育理念・保育方針に基づき、充実した環境の中で豊かな心を養い、情緒の安定や体力の増進、月齢に応じた規則正しい生活を身につけることができるよう努めた。また、地域に根付く保育所となるよう地域の方々・福祉施設・小学校・幼稚園との交流を持ち、いろいろな人とのふれあいを充実させた。

その中で、矢中校区連携推進委員会の取り組みとして、「ともに輝け 矢野川の子」のスローガンのもと、幼少期の親子が人間関係を構築する力の育成や豊かな心と学力を育む読書活動の推進を家庭と保育所が共に充実させる保育を目指した。

また、人や産物を通して地域に興味や関心が持てるよう、いろいろな人と元気にあいさつを交わすことや、給食に地場食材を積極的に取り入れたり、子どもたちが実際に地場食材に触れるこことできるクッキングにも取り組み、様々な視点から、地域を意識した保育を目指した。

2. 利用状況

(1) 月別入所状況

(単位：人)

	相生保育所 (定員 70 人)		平芝保育所 (定員 70 人)		矢野川保育所 (定員 55 人)		合 計 (定員 195 人)	
月	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
4	68	65	72	67	48	45	188	177
5	69	65	72	68	48	45	189	178
6	71	68	72	68	48	45	191	181
7	71	68	72	71	48	45	191	184
8	71	65	72	71	49	47	192	183
9	71	68	71	70	50	47	192	185
10	71	69	74	70	50	47	195	186
11	71	71	75	71	50	46	196	188
12	71	71	75	71	51	46	197	188
1	71	71	76	71	51	46	198	188
2	70	70	76	71	51	47	197	188
3	70	70	77	72	51	47	198	189
合計	845	821	884	841	595	553	2,324	2,215
平均	70.4	68.4	73.7	70.1	49.6	46.1	193.7	184.6

(2) 年齢別入所状況

(平成31年3月31日現在)

区分	在籍数	内訳			
		0才児	1・2才児	3才児	4才以上児
相生保育所	70人	6人	24人	11人	29人
平芝保育所	72人	6人	24人	17人	25人
矢野川保育所	47人	5人	12人	12人	18人
計	189人	17人	60人	40人	72人

(3) 特別保育事業

①延長保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	29年度	36	28	35	38	30	37	45	41	38	36	38	45	447	37.3
	30年度	56	99	71	72	57	69	93	97	94	69	58	79	914	76.2
平芝	29年度	110	91	108	84	79	101	108	109	95	76	101	121	1,183	98.6
	30年度	80	117	103	93	85	66	79	123	141	65	91	96	1,139	94.9
矢野川	29年度	55	80	97	38	35	76	59	57	56	54	62	53	722	60.2
	30年度	77	22	25	21	15	16	88	32	39	42	23	31	431	35.9
合計	29年度	201	199	240	160	144	214	212	207	189	166	201	219	2,352	196.0
	30年度	213	238	199	186	157	151	260	252	274	176	172	206	2,484	207.0

②一時預かり事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	29年度	8	10	6	8	10	14	22	17	13	10	11	13	142	11.8
	30年度	10	15	14	12	9	5	11	20	27	26	23	16	188	15.7
平芝	29年度	22	24	21	27	35	26	13	12	9	8	10	12	219	18.3
	30年度	10	3	7	7	15	7	10	6	7	4	5	12	93	7.8
矢野川	29年度	0	1	1	1	3	2	2	2	3	2	2	0	19	1.6
	30年度	0	0	8	12	2	0	0	0	11	27	2	2	64	5.3
合計	29年度	30	35	28	36	48	42	37	31	25	20	23	25	380	31.7
	30年度	20	18	29	31	26	12	21	26	45	57	30	30	345	28.8

③障害児保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平芝	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
矢野川	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

④休日保育事業

(単位:人)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相生	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

【障害者支援施設野の草園】

位 置 相生市那波野一丁目 6 番 1 5 号

事業の種別 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業の経営

事業報告

1. 概要

(1) 利用者サービスの充実

生活介護事業では音楽療法士を講師とした音楽活動、就労継続支援B型事業では専門インストラクターを講師としたリズム体操をそれぞれ月1回提供し、歌や楽器演奏、音楽に合わせて全身を動かす等自己表現と健康維持活動を提供了。

(2) 家庭、関係機関との連携

家庭に対して説明会を年3回開催し、各事業の活動状況や障害福祉サービス制度に関する情報提供等良好な関係づくりに努めた。

相談支援事業所等関係機関とは緊密に情報交換等を行い、利用者の日中活動の場としての役割に努めた。

(3) 施設の社会化

社会福祉関係大学等の実習生の受け入れや、地域行事への参加等開かれた施設として努めた。

(4) 災害予防対策とリスク管理

年2回の消防避難訓練、警報等の発令の際の利用者の安全確保、ヒヤリハット等を活用した事故発生防止対策等安全で安心してご利用頂けるよう全職員で取り組んだ。

(5) 職員の資質の向上

各種研修会に積極的に受講し、専門知識や技術の取得等職員の資質の向上に努めた。

2. 利用者の状況

(1) 生活介護事業（定員19人）

（平成31年3月31日現在）

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男 性				3人	3人	3人	9人
女 性		1人		2人	1人	3人	7人
合 計		1人		5人	4人	6人	16人

(2) 就労継続支援 B 型事業 (定員 17 人) (平成 31 年 3 月 31 日現在)

男 性	7 人
女 性	8 人
合 計	15 人

(3) 年齢別利用状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

性別 \ 年齢	20 歳 未満	20~ 39 歳	40~ 59 歳	60~ 64 歳	65 歳 以上	計	平均年齢
男 性		7 人	8 人	1 人		16 人	41 歳 7 ヶ月
女 性	1 人	6 人	8 人			15 人	39 歳 1 ヶ月
合 計	1 人	13 人	16 人	1 人		31 人	40 歳 4 ヶ月

(4) 利用期間状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

性別 \ 期間	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計	平均利用期間
男 性	1 人	1 人		3 人	11 人	16 人	16 年 5 ヶ月
女 性	2 人	1 人		3 人	9 人	15 人	14 年 7 ヶ月
合 計	3 人	2 人		6 人	20 人	31 人	15 年 6 ヶ月

(5) 障害別状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

性 別 \ 区 分	知的障害			身体障害				精神障害
	療 A (重度)	療 B1 (中度)	療 B2 (軽度)	1 種 1 級	1 種 2 級	2 種 3 級	2 種 5 級	2 級
男 性	9 人	5 人	2 人	1 人	2 人		2 人	
女 性	7 人	7 人	1 人	1 人		1 人		1 人
合 計	16 人	12 人	3 人	2 人	2 人	1 人	2 人	1 人

※複数の障害がある場合には、障害種別ごとに重複して掲載しています。